

第13 別添資料

様式第16号（第12条関係）

見本

① 少量危険物貯蔵
の届出書
~~指定可燃物~~ 取扱い

② 令和〇〇年〇月〇〇日				
③（あて先）さいたま市消防長				
住所 さいたま市浦和区常盤6丁目1番28号				
④ 届出者（電話番号 048-833-7543）				
氏名 危険物株式会社				
代表取締役 さいたま 太郎				
貯蔵又は取扱いの場所	所在地	⑤ さいたま市浦和区常盤6丁目1番28号		
	名称	⑥ 危険物株式会社		
類・品名及び最大数量	類	品名	最大貯蔵数量	1日最大取扱数量
	⑦ 第四類	第二石油類 (灯油)	⑧ 900リットル	⑨ 50リットル
貯蔵又は取扱い方法の概要	⑩ 屋外貯蔵・取扱所 ドラム缶で貯蔵し、ウィングポンプにより容器への詰め替えを行う。			
貯蔵又は取扱い場所の位置・構造及び設備の概要	⑪ 記入要領による。詳細にあつては、別紙のとおり。			
消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要	⑫ 記入要領による。			
貯蔵又は取扱い開始予定期日又は期間	⑬ 令和〇〇年〇月〇〇日			
その他必要な事項	⑭ 設計者 ○○○ 施工者 ○○○			
※ 受付欄			※ 経過欄	

備考

- 届出者が法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- ※印の欄は、記入しないこと。
- 貯蔵又は取扱いの場所の見取図を添付すること。

1 少量危険物の貯蔵又は取扱い届出書の記入要領

- ① 届出区分
届出に係る区分以外を二重線で抹消します。
- ② 届出日
届出書を提出する日を記入します。
- ③ あて先
「さいたま市消防長」と記入します。
- ④ 届出者
少量危険物を貯蔵し、又は取り扱う者の住所、氏名を記入します。届出者が法人の場合は、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入します。
- ⑤ 貯蔵又は取扱い場所
貯蔵又は取扱い場所の所在地を記入します。
- ⑥ 貯蔵又は取扱い場所の名称
貯蔵又は取扱い場所の所有者等が個人の場合は氏名を、法人の場合は事業所の名称を記入します。
- ⑦ 類・品名（指定数量）
危険物の類及び品名を記入するとともに、化学名、通称名を併記します。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙に記入してください。
【例】・第四類第2石油類（灯油）
- ⑧ 最大貯蔵数量
貯蔵する少量危険物の、最大となる数量を記入します。
- ⑨ 1日最大取扱数量
1日のうちで、取り扱う少量危険物の最大となる数量を記入します。
- ⑩ 貯蔵又は取扱い方法の概要
屋内貯蔵・取扱所、屋外貯蔵・取扱所、屋内タンク、屋外タンク、地下タンク、移動タンク（ミニローリー）の施設区分と貯蔵・取扱い方法の概要を記入します。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙に記入してください。
【例】・ドラム缶で貯蔵し、ウイングポンプにより容器への詰め替えを行う。
・屋内タンクから温熱ボイラーへ燃料を供給する。
- ⑪ 貯蔵又は取扱い場所の位置、構造及び設備の概要
貯蔵又は取扱い場所の概要を記入します。場所の位置、構造等を図で表す場合は「別紙のとおり」とし、別紙に施設図書等を添付してください。
【例】
（屋外の場合）敷地南側隅、コンクリート地盤、排水溝及び油水分離装置を設け、境界を明示する。

(屋内の場合) 本館3階建て建築物の1階北側ボイラー室内、ボイラー○○Kcal/hの設備を設け、ボイラー室の構造(壁、はり、床及び2階の床)は耐火構造。床面は浸透防止としコンクリート構造。

- ⑫ 消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要
消防用設備等の種類と設置数を記入します。

【例】・粉末消火器(10型)2本
・泡消火設備

- ⑬ 貯蔵又は取扱い開始予定期日又は期間
貯蔵又は取扱いを開始する予定年月日を記入します。

- ⑭ その他必要な事項
設計者、施工者等の所在・名称・電話番号の他、特異な事項等を記入します。
タンクにより貯蔵取扱いをする場合で、水張(水圧)検査が終了しているものは、検査機関、検査年月日及び検査番号を記入してください。

※添付書類

案内図、配置図、平面図、立面図及び危険物を取り扱う設備の図、仕様書を添付すること。

様式第 17 号（第 12 条関係）

見本

① 少量危険物 貯蔵
の 廃止届出書
~~指定可燃物~~ 取扱い

② 令和〇〇年〇月〇〇日				
③（あて先）さいたま市消防長				
住所 さいたま市浦和区常盤 6 丁目 1 番 28 号				
④ 届出者 （電話番号 048-833-7543）				
氏名 危険物株式会社				
代表取締役 さいたま 太郎				
貯蔵又は取扱いの場所	所在地	⑤ さいたま市浦和区常盤 6 丁目 1 番 28 号		
	名称	⑥ 危険物株式会社		
類・品名及び最大数量	類	品名	最大貯蔵数量	1 日最大取扱数量
	⑦ 第四類	第二石油類 （灯油）	⑧ 900リットル	⑨ 50リットル
貯蔵又は取扱い方法の概要	⑩ 屋外貯蔵・取扱所 ドラム缶で貯蔵し、ウィングポンプにより容器への詰め替えを行う			
貯蔵又は取扱い場所の位置・構造及び設備の概要	⑪ 記入要領による。詳細にあっては、別紙のとおり。			
消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要	⑫ 記入要領による。			
廃止年月日	⑬ 令和〇〇年 〇月 〇〇日			
廃止理由	⑭ 業務縮小のため（柵は撤去し、ためます等は埋め戻す）			
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄	

備考

- 届出者が法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
- ※印の欄は、記入しないこと。

2 少量危険物の貯蔵又は取扱い廃止届出書の記入要領

- ① 届出区分
届出に係る区分以外を二重線で抹消します。
- ② 届出日
届出書を提出した日を記入します。
- ③ あて先
「さいたま市消防長」と記入します。
- ④ 届出者
少量危険物を貯蔵し、又は取り扱う者の住所、氏名を記入します。届出者が法人の場合は、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入します。
- ⑤ 貯蔵又は取扱い場所
貯蔵又は取扱い場所の所在地を記入します。
- ⑥ 貯蔵又は取扱い場所の名称
貯蔵又は取扱い場所の所有者等が個人の場合は氏名を、法人の場合は事業所の名称を記入します。
- ⑦ 類・品名（指定数量）
届出している危険物の類・品名を記入します。
- ⑧ 最大貯蔵数量
届出している少量危険物の最大数量を記入します。
- ⑨ 1日最大取扱数量
届出している少量危険物の1日のうちで取り扱う、最大となる数量を記入します。
- ⑩ 貯蔵又は取扱い方法の概要
屋内貯蔵・取扱所、屋外貯蔵・取扱所、屋内タンク、屋外タンク、地下タンク、移動タンク（ミニローリー）の施設区分と貯蔵・取扱い方法の概要を記入します。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙に記入してください。
【例】・ドラム缶で貯蔵し、ウィングポンプにより容器への詰め替えを行う。
・屋内タンクから温熱ボイラーへ燃料を供給する。
- ⑪ 貯蔵又は取扱い場所の位置、構造及び設備の概要
貯蔵又は取扱い場所の概要を記入します。場所の位置、構造等を図で表す場合は「別紙のとおり」とし、別紙に施設図書等を添付してください。
【例】
（屋外の場合）敷地南側隅、コンクリート地盤、排水溝及び油水分離装置を設け、境界を明示する。
（屋内の場合）本館3階建て建築物の1階北側ボイラー室内、ボイラー○○Kcal/hの設備を設け、ボイラー室の構造（壁、はり、床及び2階の床）は耐火構造。床面は浸透防止としコンクリー

ト構造。

- ⑫ 消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要
消防用設備等の種類と設置数を記入します。

【例】・粉末消火器（10型）2本
・泡消火設備

- ⑬ 廃止年月日
廃止した年月日を記入します。

- ⑭ 廃止理由
廃止に至った理由及び方法を記入します。

【例】（タンクの場合）敷地移転のため（タンクは水を入れ、掘り起こす）
（屋外の場合）業務縮小のため（柵は撤去し、ためます等は埋め戻す）

